



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

## 友達になろう

BE A FRIEND



### 佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒 880-02 佐土原町大字下田島3883番地1  
TEL 0985-73-0015

1995. 6. 9 (金) 第366回例会

1. 点 鐘
2. ロータリーソング「それでこそロータリー」
3. 会長の時間
4. 幹事報告
5. 各委員会報告
6. 点 鐘

#### ☆新会員の歓迎会

- 土屋光弘君 (平成7年2月3日ご入会)
- 梶田與之助君 (平成7年4月7日ご入会)
- 加藤仙之君 (平成7年4月21日ご入会)
- 吉田康一郎君 (平成7年4月21日ご入会)
- 赤木達也君 (平成7年5月12日ご入会)
- 福田 誠君 (平成7年5月19日ご入会)
- 林 厚雄君 (平成7年5月26日ご入会)

#### 第365回例会記録 (1995. 6. 2)

会長の時間 池田仁志  
皆さん今日は、本日は第365回例会です。私達のクラブが創立して以来、この例会場で丁度1年間例会を開催したことになります。そう思うと何となく感慨深いものがあります。ところで、今回を入れてあと5回の例会で私の役目も終わります。長いような、短いような1年でした。「終り良ければすべて良し」と言われますように、最後の1か月を私なりに努力してみたいとは考えています。どうぞ皆様方の一層のお力添えをよろしく願い申し上げます。

#### 幹事報告 藤堂孝一

1. 例会変更通知は来ていません。
2. 宮崎中央RCより宮崎市郡6RC会長・幹事会の案内が届いています。今回は次期会長・幹事にも出席していただくことになっています。  
(6月23日 18:30 ホテル神田橋)

#### 出席報告 委員長 神宮寺 利夫

会 員 数	30名
欠 席 者 数	7名
H.C出席者数	23名
出 席 率	76.7%
メークアップ者数	3名
修正出席率	86.7%
欠 席 者 名	福井・岩切・郡可・伊東

#### 本日のビジター 西都RC 岩切 昇君

#### ロータリー財団委員会より 委員長 濱田松太郎

今日は「百万\$の食事」を準備しました。最近ご加入された会員の方のために、「百万\$の食事」の趣旨についてご説明させていただきます。

1961年に、第795地区ガバナーであったチェスター・クラス氏によって提唱されたのが、この「百万\$の食事」です。当時ロータリーの会員数は全世界で50万人でした。従って、クラブ例会の食事代を会員一人当たり2\$節約すれば、百万\$の奉仕活動基金

を全体ではつくり上げることができることから、『百万\$の食事』と称したのです。

当クラブでも昨年度から『百万\$の食事』を実施し、今年度は5回行うことになっています。本日が4回目ですから、後一回ご協力をお願い申し上げます。

親睦委員会より 委員長代理 宮原建樹

1. 前回ご了承いただきましたように、次週の夜間例会に引き続いて新会員歓迎会を開催いたしますので、全員ご参加くださいますようお願い申し上げます。

○日 時 6月9日(金) 例会 18:30  
歓迎会 19:00

○会 場 ホテル神宮寺

○会 費 5000円

2. 6月セレモニーは、今月に誕生日、結婚記念日をお迎えになる次の方に、池田会長より記念品を贈呈して祝福申し上げます。

☆誕生日祝	中武靖雄君 斎藤芳夫君 吉田康一郎君
☆結婚記念日祝	児玉武文君 郡司武俊君 柳田光寛君 伊東忠寛君

井下清男君のご挨拶

昨年12月23日の夜、県道の側溝に転倒して右足首を骨折し、住吉の河野整形外科に入院しました。その際は佐土原ロータリークラブの皆様よりお見舞いをいただきまして、誠にありがとうございました。お陰様で大体快復することができました。厚く御礼を申し上げます。

次年度方針について(Ⅱ)

会長エレクト 藤堂孝一

○第2730地区の次年度会員増強目標数は、各クラブの会員増強目標数(ガバナー事務所に報告する)を合計したことになります。

佐土原クラブの会員増強目標数は5名を設定しています。当クラブでは各会員が1名の新会員獲得を努力目標にしていますが、他クラブで

は5名の会員でチームをつくり入会勧誘をしているところもかなりあります。全会員が取り組む効率的な方法として、今後検討の余地があると考えます。

○R I財団の基金は現在18億円です。これを2005年までに200億円に拡充する計画だそうです。日本では米山契学会の基金が85億円もあり、国内で有数の基金と言われているのですが、その反面、R I財団への協力が少ないとのことで、各クラブへの協力要請がありました。次年度のR I財団寄付金目標額は、本年度と同額の会員1人当たり110\$です。

○クラブ例会の活性化については、大規模クラブから小クラブに至るまで、それぞれ苦心しているようです。例会のマンネリ化から脱脚し、いかにして魅力的な例会にするかが大きな課題だと考えます。

他クラブと週報、公式訪問報告書などを交換し、採長補短をすることも行いたいと思います。また、鹿児島県内クラブから提案がありました。例会時にフリートーク(議題を提示して、それについて自由に話し合う)の時間を設けることも、夜間例会のプログラムで検討したいと思います。

会員一人一人が、自分たちが佐土原ロータリークラブの歴史を創っていくのだという自覚を持つことが先決であることは言うまでもありません。楽しく、有為な例会に育てていく努力をみんなでしましょう。

○今までは、会員数と予算額の事由で、各委員会活動も有名無実な状態でした。会員数がお陰様で希望の30名に達した現在、いよいよ委員会活動を展開すべき時が来ました。

本年度の社会奉仕委員会の植樹寄贈事業に続く、地域のニーズに適應した、それぞれの委員会の奉仕活動計画を立てていただきたいと思っています。特に会員増強委員会・社会奉仕委員会・親睦委員会・SAAK活動に重点を置きたいと考えます。(続)

※山脇会員の卓話は次回に掲載させていただきます。